

難民をめぐる世界の潮流と日本

現在、世界で避難を余儀なくされている人々の数は7000万人を超え、第二次世界大戦以降最大となっている。難民の大多数が難民発生地域周辺国に集中しており、そうした難民滞在国のほとんどが開発途上国である。国際社会による難民問題解決は見え、難民状況が長期化する中で難民たちは自ら解決を模索し、国境を越える過程で多くの命が失われている。こうした状況の中、難民に関するグローバル・コンパクトが採択されるなど、紛争地から離れた国での積極的な難民受け入れを含め、難民支援のあり方が議論されている。

しかし、日本における難民の受け入れ機運は非常に弱い。難民認定率は近年1%を切ったままで、難民に対する門戸は閉ざされたままである。昨今の収容問題に典型的に見られるように、難民申請者の待遇も悪化している。欧州の文脈でも専ら難民受け入れによる負の影響が強調され、その正確な実態等が紹介されることも少ない。

このような状況において、識者とともに難民支援のあり方を正面から論じ、ともに考える機会を持つこととしたい。

第1回

「難民支援を哲学する-グローバルな支援アプローチの潮流から-」

小池克憲氏 (UNHCR)

- ・日時：2019年9月25日（水）18：30～20：00
- ・場所：明治学院大学白金キャンパス本館4階1458教室

第2回

「人権の空白地帯：日本人の知らない出入国管理の実態」

児玉晃一氏（弁護士）、阿部浩己氏（国際学部教授）

- ・日時：2019年11月9日（土）13：30～15：30
- ・場所：明治学院大学横浜キャンパス10号館2階1021教室

* 第2回のみ 事前申し込み：不要

参加費：500円（本学学生は無料）

※明治学院大学公開講座（横浜キャンパス・「本当に戦争をしない国になるために」）内の一講座となるため有料となります。

第3回

「日本の難民受入れの潮流」

石川えり氏（難民支援協会）

- ・日時：2019年11月27日（水）18：30～20：00
- ・場所：明治学院大学白金キャンパス本館4階1451教室

第4回

パネルディスカッション「深刻化する難民状況に対して私たちは何ができるのか？」

パネラー：阿部浩己氏、小池克憲氏、石川えり氏

モデレーター：藤本俊明氏（難民研究フォーラム/神奈川大学）

- ・日時：2020年1月15日（水）18：30～20：00
- ・場所：明治学院大学白金キャンパス本館4階1451教室

* 事前申し込み：不要 / 参加費：無料

主催：明治学院大学国際平和研究所 後援：難民研究フォーラム

お問い合わせ

明治学院大学国際平和研究所（PRIME）

■ TEL：03-5421-5652 ■ FAX：03-5421-5653

■ URL：<http://www.meijigakuin.ac.jp/~prime/> ■ E-MAIL：prime@prime.meijigakuin.ac.jp